

## 使徒言行録

### (Acts of the Apostles)

新約聖書の 5 番目に位置し、ルカによる福音書の著者であるルカが記した文書で、ペトロやパウロと随行する使徒たちの伝道活動が記されています。

ルカによる福音書はキリストが地上で御業をなし始められたことを、本書はキリストが聖霊によってなし続けられたことを述べていますのでルカによる福音書の続編とも言われています。

執筆年代は紀元 70～90 年の間で、ローマにおいてギリシャ語で書かれたと推定されています。

内容としてはイエスが天に昇られたこと、そしてその後、聖霊が使徒たちの上に降り(ペンテコス--Pentecost--**Πεντηκοστής** --ペンテコーステース)、彼らは勇気づけられ伝道の使命をおぼえ、教会が誕生し、その後、聖霊の導きによるペトロや 3 度にわたるパウロのアジアやヨーロッパへの異邦人伝道およびローマへの移送の旅により、福音がエルサレムからローマまで宣べ伝えられ信徒の数が増え、教会が発展して、ユダヤ教の分派と思われることから脱し、次第に成長し、キリスト教徒としての地位を確立して行く 30 年間の様子が描かれています。これにより、初代のキリスト教会の成立やその後の状況、社会事情、パウロの生涯などを窺い知ることができると共に、とくに、神の国、キリスト論、信仰義認などの教えが述べられており、極めて重要な文書となっています。

(参照文献：ブリタニカ国際大百科事典電子辞書対応小項目版)

(参照文献：カラー 新聖書ガイドブック いのちのことば社)

(参照文献：早わかり聖書ガイドブック CS 成長センター)

(参照文献：新改訳聖書 注解・索引・チェーン式引照付 いのちのことば社)